

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 小山町立成美小学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童131人 教職員 16人(参加者概算)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間・行事 ) ② 行事名 ( 自転車競技試合観戦・花植え ) ③ その他 ( 応援メッセージ旗作成等 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( 聖火リレー観戦及び本会場試合観戦 ) ② その他 ( カウントダウンボイスリレー )
4 目標 (ねらい)	本校のある小山町が、オリンピックパラリンピック自転車競技開催地であることを好機としてとらえ、オリンピックパラリンピックを身近なものとして感じられるよう学ぶことによって、興味や関心が一層高まり、幅広い視野や多岐にわたる視点を持って物事に取り組もうとするようになる。
5 取組内容	○学区内にあるオリパラ聖火リレーのランナーが走る通路に、児童が植えた花を飾るため、全校生徒で鉢植え制作を行った。当日は、地域のボランティア多数協力の下で実施。その後は聖火リレー予定日の直前まで学校にて保管し、本校児童が校内で水やりなどの世話をを行った。 ○町の企画「カウントダウンボイス」に参加。オリンピック開幕50日前より、町の無線放送にてのカウントダウン放送を行った。キャッチフレーズや児童のメッセージと共に録音して伝えた。 ○本校隣接公園にて、町内オリンピック聖火リレースタートセレブレーション会場設置等の準備を6年児童が手伝い、会に参加した。また、夕刻開始となった聖火リレーは、全校児童に呼びかけたため、希望者が保護者と共に参観した。 ○町内からオリンピック参加する選手に向けた応援旗を作り、全校で応援メッセージを書いて送った。 ○7月25日のオリンピック当日は、学校連携観戦プログラムに参加し、上学年の希望者については、富士スピードウェイで行われた自転車競技大会の観戦を実施した。

6 主な成果



- 自校の児童の声が町内放送で流れるという特別感と共に、コースサポーターや聖火リレーランナーに参加する児童が多く参加し、大会の情報発信と共に、それぞれの思いや大会に向けての機運が高められた。
- 学校に隣接している公園が、聖火リレーにおけるミニセレブレーション会場という立地にも恵まれ、また希望者全員が参加できるということもあって児童たちの積極的な参加が見られた。また、聖火リレーは夕刻であったため、学校単位での参加は見送ったが、希望者保護者と共に参加する児童が数多く見られ、関心が一層高められた。
- 競歩という、比較的なじみの少ない競技ではあったが、地元の選手の参加を、地元で応援することで、競技への関心が大きく高められた。また、これら選手たちの活躍・好成績により、スポーツのみならずオリパラが一段と身近に感じられたように感じる。
- 様々な事情により、参加者は希望者だけではあったが、一生に一度と言っても良い地元開催の享受を受けることができたように感じている。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

- 花植えは、全学年が混在する縦割り班の小グループで実施したため、学年を超えた交流や、アドバイスをお願いした地域のボランティアの方々とのふれあいが感じられる交流ができた。



8 主な課題等

- 今後も、オリンピックパラリンピックを好機として捉え、学習に生かしていくことが大切。また、子どもたちが調べたりまとめたりしたことを、どこに向けてどのような形で、どのように発信していくのか、という点について工夫していくことも重要であると考え。

9 来年度以降の実施予定

- ボッチャの継続的活用を推進する。
- 次回以降の夏季冬季オリンピックパラリンピックについても、引き続き培ったノウハウを活用し興味関心を喚起すると共に、スポーツに関する「見る・聞く・調べる・やってみる」を継続していくことが重要であると考え。



